

1. 件名：福島第一原子力発電所における2号機原子炉格納容器内窒素封入の停止事象に係る面談

2. 日時：令和元年11月20日（水）13時00分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、高松審査係、田上審査係、山中審査係、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 原子炉冷却グループ 担当1名
プロジェクト計画部 担当1名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社より、2016年1月以降に起こっていた2号機原子炉格納容器窒素封入低下事象について（低下事象は、本年8月のバルブ操作により概ね回復済み）、原因調査を行っていたところ、新たな調査結果及び今後の方針について以下のとおり説明があった。
 - ✓ 原因調査として新たに原子炉建屋内のホースの交換作業時に内部確認を行ったこと及び流量計ユニットの内部確認を行ったが、どちらも異常は確認されなかった。
 - ✓ 上記とこれまでの調査結果を踏まえると、計装ラックから原子炉側の下流側のラインに異常があったものと考えられる。
 - ✓ 今後の方針としては、窒素封入の信頼性向上の観点から、原子炉圧力容器の別のノズルから封入するラインの追設を検討し、通気確認を行うこととする。
- 原子力規制庁は、上記説明を確認し、今後の方針が決まり次第報告することを求めた。

6. 配布資料

- 2号機原子炉RPV窒素封入流量低下事象に対する調査結果及び今後の方針について